



本派本願寺羅府別院 輪番法話



輪番 ウィリアム ブリオネス

お盆を迎えて

私は北カリフォルニアのマウンテン・ヴェニ...

高校に入り日系アメリカ人の友達ができたの...

特にアメリカでは「お盆」と聞いて私たちが...

お盆には亡くなった人をお迎えするのだとい...

L.A. Homba Hongwanji Buddhist Temple
815 E. First Street Los Angeles, CA 90012

無数のいのちに支えられて私たちが今ここに...

あの頃私の遊び場であったトマト畑はなくな...

ページ案内
総合 この話ご存じ コラム 弔意感謝録等

羅府別院理事長より



理事長 田端 パメラ

お盆の季節になりましたね！私たちの...

お盆のメッセージと理事長としての最...

「...南加教区の寺院は、今年のお盆を...

July 8th & 9th 3:30pm-8:30pm
Bingo, Farmer's Market, White Elephant Sale, Game Booths, Refreshment Booths

BON ODORI PRACTICE 2023
Tuesdays and Thursdays June 20, 22, 27, 29
Sunday July 02
Wednesday July 05



May 13, 2023 Cerritos performing arts theater

企画して下さったタレン・サイタさん、ありがとうございました！

オールデイズ・パット・グッドデイズ
5月13日のサタデーナイト、Cerritos Center for the Per-

本派本願寺羅府別院

Table with 2 columns: Date/Event and Time/Location. Includes events like 初盆会, 孟蘭盆会, 御講師, 祥月永代経法要, 戦没者追悼法要, 日曜礼拝, 別院お休み (Independence Day).

【七月・八月のご案内】

お盆カーニバル

七月八日・九日

午後三時半〜八時半

初盆会

七月十五日

(土) 午前十時・午後一時

孟蘭盆会

七月十六日

(日) 午前十時

御講師 小谷 マサオ 師 日英

祥月永代経法要

七月十六日

(日) 午後一時

戦没者追悼法要

八月六日

(日) 午前十時

祥月永代経法要

八月十三日

(日) 午後一時

日曜礼拝

毎週日曜日

午前十時

別院お休み (Independence Day)

七月四日

【この話ご存知でしたか】

増山 栄子 翻訳:伊藤 千鶴子

(続・時報二〇二三年五月「この話ご存知でしたか」)

西本願寺記録文書保管室と図書室委員会のメンバー(ブルース島山、ジョン・デイギオン、リンダ稲垣、ミツヨ田中、ミチ松並、シンディ小田、増山栄子、ウィリアム・プリオネス輪番アドバイザー)は、今年三月五日にこれからの目標と方針について話し合い、以下の内容をまとめました。

本派本願寺別院記録文書保管室と図書室の基本方針
現在と将来の世代の人々の為に、別院の記録的な実証がされた歴史にアクセスし易く、検証し、保管する。
図書棚を大幅に整理し、資料を三つに分類分割することで、情報へのアクセスをよりし易くし、それを維持することに努める。
図書室をメンバーの方に向けて開放し、環境整理に努める。

2023年、創立百周年イベントを迎えるにあたり、故リョウ・ムネカタ博士のリーダーシップのもとに西本願寺の記録文書保管室は設置されました。百周年記念事業の最大の目標は新たな納骨堂(無量光寿堂)を設置することでした。そして、建物の改築工事を行うにあたって、今まで大切に保管されていた所蔵物を空いたスペースに映すことをジョージ・松林輪番(当時)は認めました。ゲリー・カワグチ氏より多額の寄付を頂いたことを皮切りに、いよいよ工事が始まりました。

西別院の記録の多くは書類とパンフレット類です。紙媒体の時報は、ミチ松並と故カヨ宇野によって整理されました。トウヨウ・ミヤタケ氏の息子、アラン宮武氏より写真のネガ(1940年代-1980年代)が寄贈されました。ブルース島山氏とリンゼイ・ミヤタケ氏は、専門知識を活用し、ボランティアで夏から秋にかけて所蔵物の目録をデジタルファイルに移行しました。

ラジオのお説教番組や講義・日曜礼拝での法話等の音声記録の数は千近くに達しています。それらをチェックし、松並とローズ・北山両名はコンピュータ入力しました。後日、リンダ稲垣がそれらをデジタル化しました。また、大量のオープンリールテープやスパー8カセット、VHSビデオ等が未整理の状態で箱の中に眠っています。故カオル井上は、写真のアルバムを五十箱以上持つていましたが、息子のマール・井上はそれらを別院に寄贈しました。そのアルバムは、故グレース・マルキ、ウォーツとキヨコ、カミ、ラスタラが整理を行いました。以降、今日までミチ松並が日引き続き記録資料の整理を続けていきます。

過去から現在に至るまで、様々な資料が別院を想うメンバーの皆さまから寄贈されました。アルバム、色紙、写真、パノラマ写真(20世紀初頭に撮影されたものが大半で、筒状に丸めたり、アルバムに入れて保管されています)、イベントに利用されたバナーや旗、木製の印、ハッピー、像、切手、ピンなどがあります。



①写真 井上馨コレクションの写真について話し合うグレース・マルキ・ヴァーツ、増山栄子、カミ・ラスタラ清子(資料館にて)
②写真 図書館で本の整理と棚入れをする松波道さん(日本語版)
③写真 資料室の整理をする田中光世さん

日本からの書籍の区域は、図書室の北側の壁にある本棚の全ての棚に収納されています。マサヨ小泉(2014-2020年まで駐在されていた小泉開教氏の奥様)は、本に個別の識別コードを付け、ローマ字と日本語の両方をコンピュータに入力する作業を精力的に行いました。書籍の分類は主に、浄土真宗、一般仏教、その他(文化や歴史等)となり、所蔵の書籍はより整理されて保存できるようになりました。後に、ミチコ中田(2012-2019年駐在の中田開教氏の奥様)と近藤千恵子は図書室に寄贈された新たな書物の目録を整理しました。最近では、近藤と沖田守子が定期的に日本の蔵書の棚卸しと整理を行っています。

西ガールスカウト2255隊、チヒロ大久保はシルバードアワード獲得に向けて、日本語文庫の目録作成と更新を行いました。アルフレッド大久保とエミ大久保の娘である彼女は、自身の能力を活用し、これらの作業にあたりました。

図書室の寄贈は、図書室の拡充につながりますので大歓迎です。近年では、故乗元恵三開教使(野本一平)と故ジョン・土網開教使のコレクションの本が寄贈されました。

英語書籍の場所は、南側の壁の棚の二箇所の本棚です。リンダ稲垣は、在庫と整理、そして、データ上の目録を整理しています。彼女は重複した書籍などを確認し、データの精度の向上に努めています。

しかしながら、図書室のスペースは限られているため、さらなる書籍収集に向けて、西別院所蔵の一部の書籍は今年のお盆カーニバルにて古本としてセールされる予定です。所蔵図書は選別しては、駐在中の村上開教使に手伝いをしてもらいました。

資料の所在を確認するのファイナリストがあります。ミツヨ田中はコレクションリストに追加し、スペースが埋まるにつれて再整理を続けています。カイル・オダは、新しく入手したアイテムをコンピュータにアップロードするよう依頼されています。アーカイブのアイテムをアクセスしやすくするという目標には、すべてのカテゴリーを横断して検索の対象とすることのできるプログラムに統合することが必要です。ジョン・ディズリオ、ブルース島山、リンダ稲垣、シンディ小田は、この目標を実現するための可能性を模索しています。

西本願寺記録文書保管室と図書室の運営維持にかかるコストは避けられない問題です。新しいソフトウェア、コンピュータの取り換え、音声記録やビデオテープをデジタル化する機材や備品、本棚、キャビネットなど必要経費にまつわる懸念事項は大いにあります。このような事情から、西本願寺記録文書保管室と図書室委員会宛ての財政的支援をよろしくお願いいたします。

西の図書室(英語と日本語)はメンバーの為にあります。自由にいられて、お好みの本を椅子に座って読まれても良いし、借りることもできます。本棚から取り出した本は、入り口のキャビネットの上にそのまま置いて下さい。後日、私たちがコンピュータ入力の順に棚に戻します。本を借りたい方は、入り口左側のキャビネットの上にある紙に日付等を記入して(返却時同様です)お持ち帰りください。もしも過去に本を借りて忘れておられる方は、キャビネットの上にもそのままお返しください。身の回りにほんの少しは、あなたをきくようもきつと豊かにしてくれます。大切な時を過ごしましょう。

「法味楽」味わう×楽しむ〱仏教



駐在開教使 村上 響

良き友とは

昔の人は、友達のことを同じ釜の飯を食った仲と言いました。今思えば含蓄のある言葉です。友達は作るものではなく、苦楽を共にするうちに友情が醸成されて、気が付けば仲間と呼び合える間柄になっていきます。思うに、仲間とは相手の苦勞話を聞いて「大変だったね、辛かったね」と共感のできる感覚であり、これを少し難しく言えば自分の問題を他者のうえに、他者の問題を自分自身の事として捉えられる感覚をお互いに持っている関係性を友と呼ぶのでしよう。お互いの事を敬い、共に生きられる間柄だからこそ、仲間と呼べるのですね。

お釈迦様は言われました。「法を聴いて忘れず、それを敬い、得る所を喜ぶ人を私の友と呼ぼう」と。仏様にとって本当の友達とは誰の事なのか、興味が出てきそうなお話です。お釈迦様曰く、仏法をよく聞きこれを忘れず、仏法を見て敬い、仏になつていくことを一緒に欲ぶことができる人を親友と呼ぶと言われました。仏法は成仏への道筋を指します。それは仏様が大切にされていることです。この教えをちゃんと聞きそれを大切にして、共に同じ方向に向かうことのできる相手を親友と呼ぶと言われています。自分の欲びを他者のうえに、他者の欲びを我が事として一緒に欲んで下さるのが仏様です。本当の友達というものは、相手の中に自分自身を見出すことができる相手です。仏様は私たちの友として智慧の眼を通して、慈悲心から私たちに寄り添い、いつもそばにおられます。

一方で、私たちの側はどうでしょうか。有り難い仏教のお話を聞いてもやがてはこれを忘れて、いつも自分ごとが心配で頭は一杯、相手の話に耳も傾けず独り相撲。これは友達の姿ではありませんね。良い友達とは相手の立場から、物事を眺められる人であつたはずなんです。

私の先生が言っていました。「相手がやりたいと思うことをその通りに受け入れることは一つのよろこびです」と。仏様の教えを聴いて、その導きに随い道を歩むことを仏意にかなうと言います。法そのものである名号のはたらきにそのまま撰められることは、阿弥陀様にとつての最大のよろこびでありまう。仏様の良き親友となつて、お浄土参りをさせて頂きましょう。



西ボーイスカウト738隊

イーグルスカウト叙任式

マシユール・シゲル・ハヤシは、2009年4月12日、グランとシエリル・ハヤシの間に生まれました。姉のサマンサは、西のガールスカウト12135団に所属し、金賞を受賞している。現在、サンペドロ高校3年生で、UCLAで材料工学を専攻する予定である。タイガーカブとして隊に参加し、新しい友だちと出会い、古い友だちとも親しくなった。その後、カブスカウトを経て、光の矢を獲得。その後、ウェベロのスカウト仲間とともに、西野のボーイスカウト138団に移籍した。スカウトを通じて、彼は仲間のスカウトたちと生涯の思い出を作りました。隊員とキャンプをしたり、夜遅くまでまんじゅうを食べたり、お盆の手伝いをしたり、毎週のミーティングをしたりと、どの活動も楽しくて仕方がなかった。隊員として、彼はシニアパトロールリーダー、隊員ガイド、隊員書記などの役職を歴任しました。

マシユールはスカウト活動以外にも、サウスベイFOURの組織でバスケットボールをしたり、高校のマーチングバンド

下San Pedro Golden Pirate Regimentでトランペットを演奏したり、西のJr. Young Buddhist Associationで会長を務めたりしています。

隊員としての一番の思い出は、カタリナ島のキャンプ・チェリー・バレーで行われた初めてのサマーキャンプに参加したこと。初めてのサマーキャンプということで、何を期待しているかわからなかったが、すぐにサマーキャンプは楽しみながら他のスカウトと出会う場であることを知った。ハイキング、水上アクティビティ、メリットパッジを楽しむ。また、サマーキャンプでは、スカウトに熱中すること、物事は自分が作った分だけ楽しくなることを学びました。

高校3年生の夏、マシユールは高校のマーチングバンドディレクターであるマーク・マンリケス、バンドのボランティアトレイラー運転手ルディ・クルス、ASM、そしてスカウト仲間たちと一緒に働く機会に恵まれました。彼のプロジェクトは、オルギン・キャンパスからフラッグシップ・キャンパスへ、あるいはその逆へ、みんなの楽器を簡単に運べるようにするための棚を作ることでした。また、トレイラーの床に積み上げることなく、楽器を保管することも可能になりました。このプロジェクトを行うことで、彼は一年生の時から所属していたマーチングバンドに恩返しをすることができました。

彼は、この記念すべき旅を通して、助けてくれたすべての人に感謝しています。スカウトマスターのチャベスとASMの皆さん、金曜の夜と週末を返上して、部隊の監督、スカウトマスター会議、キャンプツアーなどに参加してくれてありがとうございました。功労バッジのカウンセラーとして、また隊の機能を助けてくれた隊員の保護者に感謝します。また、あるランクの要件を満たしてくれたり、指導してくれたり、偉大なロールモデルとなってくれたスカウト仲間たちにも感謝したいです。最後になりましたが、彼の旅路の各段階で常にサポートしてくれた家族に感謝したいと思います。彼らの無私の精神がなければ、彼はイーグルランクを取得することはできなかったでしょう。この2年間、大小にかかわらず、すべての人に助けられたことに深く感謝しています。



サイレントオークションの報告

西別院仏教婦人会は、サイレントオークション募金活動を成功裏に終える事ができました。会館キッチン改修に必要な費用を賄うための行事でしたが、成功を収めることができましたのもひとえにスポンサーや寄付をして下さった皆さま、実際にオークションに参加頂いた皆さまのお陰です。以下は今回改修をした部分になります。埋め込み式照明の設置、ステンレス製のテーブルと棚の購入、老朽化したステンレス製業務用冷蔵庫の交換、蛇口の交換、コンロの上に蛇口を設置するための新しい配管の接続、水濡れの壁の補修、キャビネットを含む部屋全体の塗り直し、コンロ、ファン、コンロの照明の清掃・調整。会館のキッチンが次の3年も使えるようになったのは、ご協力頂いたメンバーの方々とコミュニティの皆さんのチームワークのおかげです！心から感謝申し上げます。合掌

ヤッホー！ 行く、探る、食べる、学ぶ！

4月8日、西ABAのメンバー13名はタナカファームに行きました。「Farm-to-Table Cook-Out Tour」に参加して、農業体験をさせてもらいました。

この時はイースターだったので家族連れの子もたちが楽しめる行事以外にも、納屋にいる動物たちとのふれあい体験もありました。

ランチは、チキンゲリル、採れたての紫カリフラワーとズッキーニ、ケールのサラダ、イチゴ、クランベリー、ピネグレットドレッシングなど、収穫の一日を締めくくる彩り豊かなお野菜がテーブルを飾りました。とてもおいしかったです！

西ABAのメンバーは、グレン・タナカさんとシャリー・タナカさんに会うことができました。お二人は私たちの訪問を歓迎してくれました。

12年前、2011年3月11日の東日本大震災後、タナカ



ファームとオレンジカウンティ・オブティミストクラブは「ウォーク・ザ・ファーム財団」を設立しました。募金イベントを通じて、日本の被災地の農家を支援しました。「自然災害の被害に苦しむ農家のために希望を収穫する。」これが財団のミッションです。小規模農家への資金提供、地域復興支援など、活動は多岐にわたります。これまで、継続的な支援をしてきました。重要な産業を守り、未来の世代にこれを繋ぐことを願ひ、農業を支援しています。財団の活動の様子はHPで確認ができます。(https://www.walkthefarm.org)

タナカファームのモットーは、「一年中、家族を教育し、楽しませ、食べさせる」ことです。西ABAのメンバーも、色々なことを学び、楽しんで、美味しいお野菜を食べさせてもらいました。実際に行ってみて、農園を歩くのと色々な発見があります。様々な行事がありますから、ぜひHPを確認して、一度訪ねてみてください。(https://www.tanakafarms.com)

最後に、イベントを企画してくれたグレン・サイタさんに感謝の言葉を送りたいと思います。

：西ABAはメンバーを募集しています。主な活動は、寺院奉仕とレクリエーションです。私たちは、よく働き、よく遊ぶグループです！(西ABAのHP: https://labetsuin-aba.org)

